

第 15 回 おおいたビジネス オブ ザ・イヤー

受賞企業	有限会社 中村設備工業
代表者	代表取締役 田口 由香里
所在地	大分市原川1丁目1番16号
資本金	500万円
従業員数	14名
創業	昭和44年
業種	鋼材加工業



受賞理由

当社は昭和44年に鉄工所として創業以来、得意の曲げ加工へ特化を進め、現在では県内唯一、九州でも数少ない各種鋼材の切断・曲げ加工専門業者である。

一般的な鉄工所でも製缶や鋼材などの曲げ加工は可能だが、時間やコストを考えると、専門設備を有する工場に一括発注するメリットは大きい。同業からも「曲げは中村へ」と言わせる圧倒的な信頼性と技術力(加工精度±2mm)が強み。「迅速に、正確に、パワフルに」をスローガンに、若い従業員を雇用し自社で育てることで、地元就職率の向上に貢献しつつ、曲げ加工の専門技術伝承に注力している。また業績面では売上高、利益とも3期連続で伸展。総資本回転率、自己資本比率も伸びを示し、一人当たり売上高は業界平均値を上回るなど高い生産性を誇る。

現代表者は3代目で、女性ならではの経営センスや従業員教育、財務管理など、経営に必要な要素を十分持ち合わせている。最も心がけているのが、明るい職場づくりと笑顔での仕事。若い従業員が多い中で、いつも明るい気持ちで何事にも取り組むことこそ、良い製品を生み出す条件だと信じ、厳しいながらも暖かいアットホームな職場環境づくりに努めている。

このように、優れた業容、業績をはじめ独自分野の確立、若手従業員への技術伝承などの取り組みが、他社の範とするにふさわしいと評価され、今回の受賞となった。

《 企業紹介 》

■ 事業内容

金属製パイプ・チューブの材料となるSS材、ステンレス他、各種鋼材の切断・曲げ加工を主要業務としております。これらは物質の伝送やエネルギー伝達の配管等にとどまらず、自動車、航空機、家具、建築構造物などあらゆる分野で使用されており、受注先は鉄鋼会社、造船、看板会社など幅広く、内容もアーケードの角パイプ、体育館のエッジからジェットコースターのレールまで多種多様です。

■ 当社の強み

若さあふれる職場だからこそできる、スピーディーでパワフルな仕事。曲げ加工という専門技術を確実に次世代へ伝えつつ、お客さまのニーズに確実に応ええる設備と技術を備え、各種鋼材加工のあらゆる仕様に対応しています。

■ 今後の展開

数ある鋼材のなかでもステンレスは強度、耐食性、耐熱性といった素材特性に加え、100%リサイクル可能な環境負荷の少ないことが評価され、この50年間で生産量は30倍以上に伸びております。しかしデリケートで傷つきやすく、仕上げが難しいため、曲げ加工は県外の専門工場に発注されることが多かったのですが、この度新たに導入したステンレスパイプの専用加工機によって、需要が高まる薄肉管パイプをはじめ、高い仕上がり精度を短納期で実現できるようになり、新たな分野の開拓で更なる受注増が期待されます。



《 よろこびの声 》

この度は、大変名誉な賞を頂き誠にありがとうございます。これからも感謝の気持ちを忘れず、お客さまのあらゆるニーズにお応えできる、正確無比な専門技術の提供を目指してまいります。なお、3月よりホームページをリニューアルしています。詳しい業務内容はホームページをご覧ください。(http://www.nakamurasetubi.co.jp)